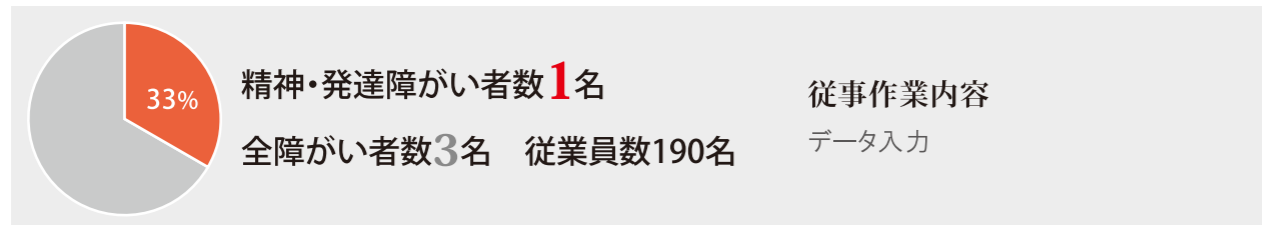




## 支援機関と企業が支援を分担する 失敗から学んだ障がい者雇用のスタイルで、 次は支援する側に挑戦

### 株式会社 データセレクト アウトソーシング



### 障がい者向きの職場でも支援機関は必須だった。

[取締役統括部長 平松さん]



障がい者雇用を始める前から、業務の細分化が会社の方針でした。お客様から請け負った仕事を、誰でも出来る簡単な業務に分解し、パートさんに作業してもらったのが、もともとのビジネスモデルでした。

「この仕事ならできる」と感じたのか、障がい者から働きたいという問い合わせが入るようになり、雇用率のためにも採用することにしました。

しかし、そのころは支援機関の存在を知らず、会社だけでは生活面のトラブルや心の不調に対応しきれなくなり、1年程度で退職してしまいました。もっと早く支援機関を知っておけば良かったですね。

## 相性の良い支援機関と出会い、 仕事と個人の支援を分担するのがポイント

支援機関がしっかりしているかどうか。そこが障がい者雇用のポイントだと思います。支援機関の中には、少々福祉に偏りすぎたり、若干フォローが物足りなかつたりと、当社の方針と合わない所も多くありました。

その点、S&Jパンドラは、実習中も付いていてくれましたし、プレゼンの時間も取って「1年間フォローします」としっかり説明してくれました。そこまでやってくれればと、こちらも前向きになりました。

支援を受け就労中の加藤さんは、データ入力の能力はとて高いのですが、文章を推測するのが苦手でした。そのことを支援者に伝え、新聞の社説を毎日入力する訓練を行ってくれました。S&Jパンドラは、就労に特化した、当社にピッタリの支援機関です。

会社ができる範囲は限られています。面談などのメンタルや生活に関することは支援機関が受け持ってくれるため、会社は安心して、仕事面の教育や配慮に専念できます。こういった支援機関がもっと増え、それを企業がうまく活用すれば、障がい者雇用はもっと進むはずですよ。



## 障がい者の力を伝える「通訳」として、地域に貢献する。

支援者の仕事は「通訳」だと思っています。仕事上の問題が起きても、原因が家庭や精神面にある場合、企業は知り得ないばかりか、本人が上手く伝えられない事もあります。これではお互いに話が分かりません。そこを間に立って通訳してくれれば、両者に信頼関係が生まれます。能力には問題ないので、あとは仕事の事は企業が、それ以外の問題は支援機関がケアすれば、障がい者は働くことができます。

障がい者と企業の実情に応じた支援ができればと、当社でも就労支援事業を始めることになりました。

環境整備はすでに出来ています。収益のための業務の細分化や、パート職員への指導ノウハウが、障がい者に適した環境を作っていました。当社の他にも、障がい者雇用に適しているのに気づいていない企業が、まだ多くあるはずですよ。これまで出会ってきた支援機関や特別支援学校とも連携し、障がい者と企業の橋渡しをする通訳として、地域の福祉と企業に共に貢献できる支援機関を築いていきます。

### 採用までのプロセス



利用した支援機関・制度 ● 障害者就業・生活支援センター ● 就労移行支援事業所 ● 障害者トライアル雇用制度

### 株式会社 データセレクト

所在地	愛知県豊田市阿野町昭和5-1
事業内容	ダイレクトメール企画・制作・発送作業 封入・封緘・軽作業代行 物流管理発送代行 データ入力 宛名印字・宛名ラベル作成 など

